

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	McKeown食道切除の再建経路と術中・術後因子との関連についての検討
研究責任者	胃・食道外科 風間義弘
研究機関名	日本赤十字社医療センター 胃・食道外科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：風間義弘 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604
研究目的と意義	食道癌に対して本邦で最も行われている外科手術はMcKeown食道切除（いわゆる食道亜全摘、頸部吻合）および胃管再建です。同手術の再建経路において胸骨後経路または後縦隔経路が選択されますが、施設によって選択がまちまちであり、どちらが至適であるかいまだ明らかとなっていないです。今回の研究によりどちらがよりよいかわかることが目的であります。よりよい再建経路を選択することで合併症の軽減、入院期間の短縮、退院後の生活の質の向上が期待できます。
研究方法	当科にて2006年1月から2021年4月までに食道癌に対してMcKeown食道切除および胃管再建が施行された58症例を対象として検討します。胸骨後経路が32例であり後縦隔経路が26例でした。それぞれの手術時間、出血量、術後合併症、術後在院日数、術後血清アルブミン値、術後体重減少量を比較します。手術時間、出血量は手術負担を反映します。術後合併症、術後在院日数は術後から退院するまでの患者様の負担を反映します。術後血清アルブミン値、術後体重減少量は退院後の患者様のどのくらい食事摂取できるかを反映します。本研究は学会、論文などで公表される可能性があります。なお、個人が特定されることはなく、研究に参加を希望されない場合に診療に不利益はありません。もし研究への参加を希望されない場合は以下までご連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 胃・食道外科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：風間義弘 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604